

## 令和3年度 第2学年 授業改善推進プラン

	授業改善のねらい	具体的な授業改善策	評価 (○成果 ▲課題)
国 語	<p>○新出漢字や語彙、文法の理解と定着を図る。「てにをは」などの助詞、促音、拗音など)</p> <p>○文章を順序立てて論理的に読んだり、文章から想像したりする力を高める。</p> <p>○気持ちや考えを言語化する力や、それを話したり書いたりする力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい姿勢や鉛筆の持ち方、「とめ・はね・はらい」を意識継続した漢字の指導を行い、間違いを丁寧に直す習慣を付ける。</li> <li>・読み直す習慣がつくように、どこをどのように確認するかポイントを教える。</li> <li>・読み聞かせや音読を積極的に行い、語彙を増やして言葉の意味を確かめたりふだんから活用したりして、読む力の基礎を養う。</li> <li>・論理的に読む手順を確かめ、大事な言葉や文を自分で見付けられるようにする。</li> <li>・言語活動の機会を増やしたり、児童の言葉を言い換えたりする。定型文の提示や、上手な児童のまねから始めさせる。</li> </ul>	
算 数	<p>○1年生までの学習(特に10よりも大きい和差算)の確実な定着を図る。</p> <p>○考えの言語化を図る。(課題解決の仕方、まとめ、学習感想など)</p> <p>○量感を伴う学習の理解を深める。(長さ、かさ、時計など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入や授業の中で手遊びやゲームを通し、いくつで5や10になるか考えさせる。</li> <li>・朝学習や宿題などで、まず計算や筆算に取り組み、定期的に復習の時間を確保する。</li> <li>・数学的な言葉や考えを表す文章や方法を紹介し、自分で活用できるようにする。</li> <li>・個、グループ、集団の順で、言語化する機会を増やす。</li> <li>・日常生活に関連付けて考えさせる。</li> <li>・具体物を操作したり具体的な場面を提示したりする。</li> </ul>	
生 活 科	<p>○生き物や野菜への興味・関心を高め、愛情を育む。</p> <p>○地域の人々や場所について興味を広げ、安全に生活しようとする意識を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物と直接触れ合う場面を設定し、どのように動植物に関わっていくかを考えさせる。</li> <li>・校外活動では、地域の場所や人との関わりが意識できるように活動や体験の充実を図る。</li> </ul>	

<p><b>体 育</b></p>	<p>○児童にめあてや自分の課題を意識させる。</p> <p>○運動することに苦手意識がある児童でも安心して取り組める授業づくりを図る。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。</p>	<p>・学習カードを作成し、一人一人がめあてや自分の課題を理解しながら取り組めるようにする。</p> <p>・多様な運動遊びを取り入れ、体を動かす楽しさを味わわせるとともに、友達同士で見合ったり励まし合ったりする習慣を身に付けさせる。</p> <p>・児童同士が、互いの良さを認め合える振り返りの場を設定し、学びを深められるようにする。</p>	
-----------------------	---	--	--